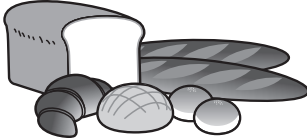


3

【資料1】職業について書かれた本の「パン職人」のページ


焼き立てのかおりに包まれて

パン職人の仕事



《パン屋さんの一日》

5:00	パンの生地 <small>きじ</small> の確認 <small>かくにん</small>
	パンの形作り, 焼き
7:00	開店
11:30	パンの形作り, 焼き
14:00	翌日 <small>よくじつ</small> の天気 <small>あそが</small> の確認
	翌日の生地作り
17:00	片付け <small>かたづ</small>
	翌日の準備
19:00	閉店 <small>へいてん</small>



朝5時からパン作り開始

7時の開店に焼き立てのパンを並べるために、朝5時からパン作りが始まります。前日に準備した生地をパンの形にし、発こうさせ、焼き上げます。何種類いそがものパンを作るため、朝から大忙しです。パン職人は、これを毎日行います。

気になる天気

パンの仕上がりは天気や気温しつど、湿度しつどによって大きく左右されます。翌日の天気予報を確認かくにんし、生地きじの配合や量を調節します。

《パン職人への道》

① 中学校

↓

② 高等学校

↓

③ 大学・短期大学

④ 専門学校せんもん

↓

⑤ 助手として修業

↓

⑥ パン職人

谷口さんたちは、将来しやうらいなりたい職業について調べ、クラスの中で紹介しやうかいし合うことにしました。谷口さんは、パン職人を選び、【資料1】を読みましたが、もっとくわしく知りたいと思ったので、【資料2】も読みました。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

パン職人の坂下さんに聞いてみました

パン職人の声



◆ パン職人になったきっかけを教えてください。

子供のころから、ふわふわ、もちもちのパンの食感が大好きで、たくさんパンを食べていました。そして、小学校高学年のころから、そんな大好きなパンを、自分で作りたいと考えるようになりました。

◆ どのようにして、パン職人になったのですか。

中学校、高等学校を卒業した後、専門学校に入学していろいろな料理の基本を学びました。専門学校を卒業後、地元のパン屋に就職して、パン作りの助手として修業をしました。修業中は、夢中でパンの作り方を学びました。四年たってパン作りの全てを任せられ、職人として一人前と認められるようになったときは、本当にうれしかったです。

◆ この仕事の大変なところ、苦勞は何ですか。

同じ種類のパンでも、材料の分量や焼く温度などをその日の天気や気温、湿度などに合わせて変える必要があるので、毎日同じ味になるように作り方を考えることが難しいです。

また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分が新しく考えたパンを思いどおりに作ることは、さらに難しいです。

◆ どのような時に仕事の喜びを感じますか。

わたしはパンが大好きなので、パンのかおりに包まれているだけで幸せな気持ちになります。

自分の思いどおりのパンが焼き上がった時は、とてもうれしいです。いいにおいに包まれながら、ふっくらと焼き上がったパンがまから出てくると、パン作りの苦勞がふき飛びます。

焼き立てのパンがお店に並ぶと、お客様から「わあ。」「おいしそう。」「とかん声が上がることがあるのですが、そんなふうにお客様のうれしそうなお声が聞こえた時は、パン職人をやっていてよかったです。実感します。

一 谷口さんは、【資料1】を読んだあと、もっとくわしく知りたいことがあったので別の本を探し、【資料2】を選びました。谷口さんは、どのようなことを知りたいと考えて【資料2】を選びましたか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 パンができるまでの工程について知りたい。
- 2 パン職人の仕事に対する考え方などを知りたい。
- 3 パン職人の生活は日によって変わるのかを知りたい。
- 4 パンには、どのような種類があるのかを知りたい。

二 谷口さんは、「資料2」を読み、坂下さんがどのようにしてパン職人になったのかを【資料1】の《パン職人への道》に当てはめて確かめることにしました。

(問い) パン職人の坂下さんは、「資料1」に付けられた①から⑥までの番号を使うと、どの順番でパン職人になったといえますか。その順番として最も適切なものを、次の1から5までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 ①↓⑤↓⑥

2 ①↓②↓⑤↓⑥

3 ①↓②↓④↓⑤↓⑥

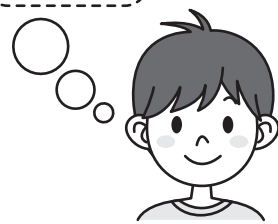
4 ①↓②↓③↓④↓⑤↓⑥

5 ①↓②↓③↓⑤↓⑥

三 谷口さんは、パン職人の仕事について、【特に心に残ったこと】を中心に紹介したいと考えています。そこで、【資料2】を読み直しながら、紹介したいことをメモにまとめています。次の【資料2】をもとにしたメモの一部】の の中に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

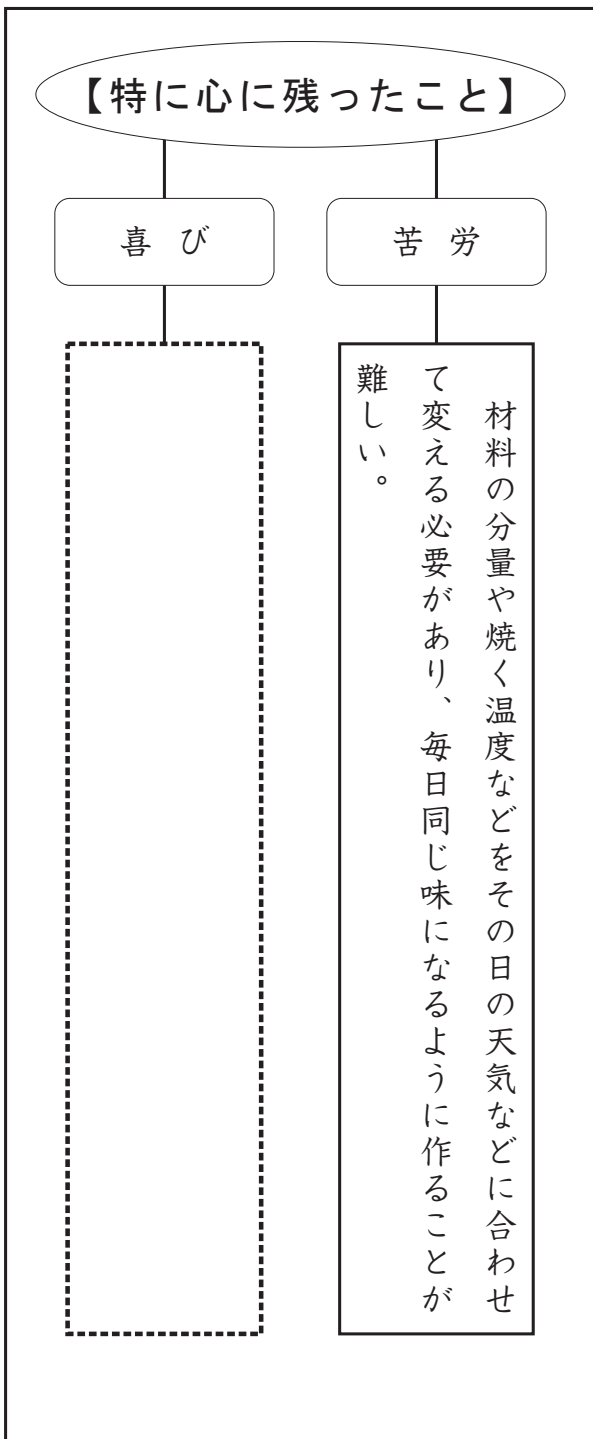
【特に心に残ったこと】

毎日、天気に関わらず同じ味になるように作るのは、とても難しいことだけれど、お客さんが喜んでくれた時には、やりがいを感じることもできるんだな。



谷口さん

【資料2をもとにしたメモの一部】



〈条件〉

- 谷口さんの【特に心に残ったこと】が伝わるように書くこと。
- 【資料2】から取り上げて書くこと。
- 四十字以上、六十字以内で書くこと。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

60字

40字